

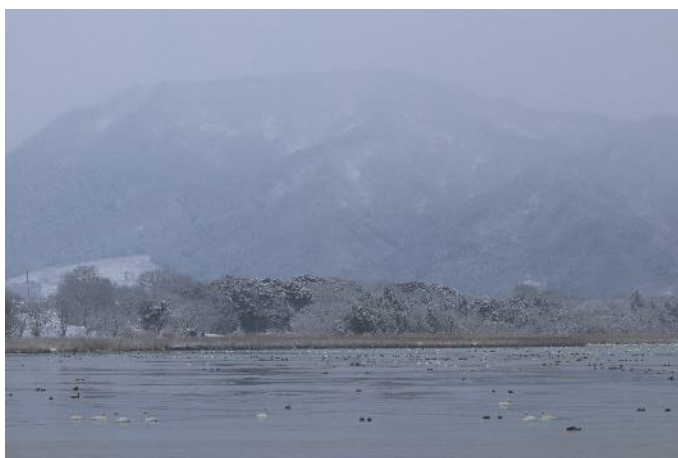
佐潟自然情報

【1月】

2022年寅年（とらどし）が始まりました。1月は睦月（むつき）、家族や親戚が睦み合う、お互いに親しくするという由来の一つとしてあります。佐潟は冬本番。雪景色は墨絵のようで趣があります。そして、ハクチョウやカモたちだけでなく、ガンの仲間も佐潟や周辺を利用しています。

冷え込みが厳しい日々ですが、ハクチョウやガンの仲間は、日中、田んぼへと食事にでかけます。カモたちは、夕方から夜に田んぼへ食事にでかけます。栄養を蓄えて、渡るための準備でしょうか。

また、葉が落ちた公園内、よく見るとカマキリの卵等も見られます。



〈 佐潟の様子① 〉



〈 佐潟の様子② 〉

■ 1月に見られたもの

〔植物〕

オオイヌノフグリ、ノゲシ、ヘクソカズラ（実）、
ヤツデ、ヤブツバキ、



〈 ヘクソカズラ（実） 〉

〔鳥類〕

ヒシクイ、マガン、シジュウカラガン、コハクチョウ、オオハクチョウ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、
カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カワアイサ、カイ
ツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイ
ナ、オオバン、タゲリ、トビ、チュウヒ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、モズ、オナガ、ミヤマガ
ラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、
シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アトリ、カワラヒワ、ベニマ
シコ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン



〈 ベニマシコ 〉



〈 ミコアイサ 〉

〔その他〕

オオカマキリの卵、ハラビロカマキリの卵、
ミシシippアカミミガメ、



〈 オオカマキリの卵 〉



〈 ハラビロカマキリの卵 〉